

やまぐち 市議会だより



静けさの中 希望の灯火

定例会ピックアップ	2
決算審査	3
議案の審査結果	5
委員会 ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
白石小学校議場見学	14
議会からのお知らせ	15

新型コロナウイルス感染症経済対策

第6弾!

16億 3000万円で市独自の切れ目のない支援を!

9月 定例会

2020年
9/7~10/16

上程された議案

予算

9件

条例

3件

事件議決

19件

諮問

6件

決算認定

15件

意見書

2件

主な事業

- 「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券の発行支援【6億8300万円】
(飲食店応援チケットの発行支援【3000万円】)
- 小中学校の修学旅行の計画変更等への支援【3071万円】
- 地域外来・検査センターの設置【3892万円】



山口市休日・夜間急病診療所敷地内に設置

- 市内全域の光ファイバ整備支援【3億1400万円】

高速・大容量の情報通信インフラを整えるため、民間事業者による光ファイバの整備に対して支援するもの。

指摘・要望

- ・未整備地域の早期解消に向けて取り組んでいただきたい。
- ・移住定住、産業誘致、子育て、教育、医療などのこれからの発展に寄与するものであり高く評価する。

- 地域型保育施設等の職員への応援給付金【2190万円】

県が、私立の保育所・幼保連携型認定こども園等の職員に対し、一人あたり5万円を支給する事業の対象とならなかった地域型保育施設、認可外保育施設、病児保育施設の職員に対し、市独自に給付するもの。

指摘・要望

- ・市独自の支援として実施することを評価する。
- ・対象外とされている公立保育園の職員への給付も検討されたい。

感染拡大の防止と社会経済活動を維持するための取組として、第6弾となる経済対策に係る補正予算議案について、議員全員の賛成により可決しました。
審査にあたっては、市民にとって何が最善策であるのか、効果的であるのかを慎重に調査・議論を重ね、議員から多くの意見を出し、指摘をしました。

- 指定管理者への休業補償【3349万円】

重源の郷や菜香亭、やまぐちリフレックスパークなど、市が運営を委託する指定管理施設(21施設)について、市からの休業要請による影響額を補償金として支払うもの。

指摘・要望

- ・各施設の補償額については、全庁的に統一された基準で算定されたものであり適当である。
- ・コロナ禍において、雇用されている方の賃金や有給休暇取得の状況等への影響について、積極的に調査されたい。

- 新生児への特別給付金【1億400万円】

国民一人につき10万円が給付された特別定額給付金の基準日以降に出生し、給付対象とならなかった新生児(4/28~12/31生まれ)について、市独自に給付するもの。

指摘・要望

- ・対象から漏れた方を支援していくという市の姿勢の表れであり評価する。
- ・出生届出時に申請書を渡すなど、周知、広報に積極的に取り組み、対象者がもれなく受給できるよう柔軟な対応を求める。



経済対策第6弾の詳細は、市ウェブサイトへ

来春オープン待ち遠しい

9月26日、令和元年4月より工事に着手した『産業交流拠点施設』の上棟式・建設工事進捗状況報告会が工事現場で挙行されました。

感染拡大防止のため、渡辺市長をはじめ坂井議長等関係者約40名に招待を制限し、新型コロナウイルスに十分配慮。



ホール2階客席から見た舞台部分。地下構造も見える。

式典会場は県内最大の2000席を誇る多目的ホールの舞台部分で行われ、市長や来賓(県知事と県議会議長)の祝辞メッセージのあと、施工担当者から設計コンセプトの説明と工事の進捗状況(9月末で60%)の報告がありました。

式典後の見学会では、産業交流スペース、多目的ホール2階客席、アカデミーハウス、ライフイノベーションラボ、県央多部制定時制高校等の配置説明が行われました。



多目的ホールのホワイエからは、新山口駅へ直接つながる屋外自由通路に出ることも可能。

9月定例会

ピックアップ

pick up

多世代交流・健康増進拠点施設基本計画最終案にぎわいあふれる湯田温泉を!

8月31日に示された基本計画の最終案を受け、多くの議員が施設整備計画に対して指摘し、機能や配置案についての疑問点を取り上げ、市の認識をたどしました。答弁では既存施設への対応方針をはじめ、付帯施設の活用、施設周辺の道路整備など

地域課題に対する取組を進めるとの説明がありました。また、各種イベントとの連携で湯田温泉の活性化を図り、定住人口増加にも資するにぎわいあふれる施設として整備を進めていきたいとの答弁がありました。

9月定例会は、令和元年度決算を審査 財政、予算の執行状況、事業の成果などを厳しくチェック!

令和元年度の一般会計をはじめとする各種会計の決算認定議案が市長から提出され、審査しました。

予算に関連する議案を審議する「予算決算委員会」において総括的な審査を行ったのち、各常任委員会(6ページ参照)に分科会を設置し、専門的な審査を行いました。

決算の審査では「将来を見据えて財政状況は健全であるか。」「適正に予算を執行し所期の効果を上げているか。」「今後の予算や事業に反映すべき事項はないか。」「といったさまざまな視点でチェックし、疑問点などを確認しました。

各議員から厳しく指摘、意見する場面もありましたが、総合支所への本格的な権限移譲による地域主体の個性ある地域づくりが進められるとともに、山口・小郡の両都市核づくりと各地域をつなぐ取組の積極的な推進により、総じて令和の時代の幕開けの「つなぐ 未来創造」予算にふさわしいまちづくりが実行されていることを確認し、全会一致で認定しました。

決算額等の詳しい内容は、「市報やまぐち12月1日号」または市ウェブサイトをご覧ください。

指摘・要望

- 経常収支比率や将来負担比率などの財政指標の上昇は、未来創造のための社会基盤整備等が要因であることは理解するが、自主財源の確保に取り組むなど、将来世代に過度な負担を残さないよう健全な財政運営に努めていただきたい。
- 市民の申請により初めてサービスが提供される事業は、必要な方に必要なサービ

- スがしっかりと行き届くよう事業の周知に努めていただきたい。
- また、目標どおり事業の成果を得るためには専門人材の確保が重要な事業もあることから、今後、適切な事業運営が行えるよう取り組んでいただきたい。
- 主要な施策の成果報告書の記載事項については、市の取組を正確に評価するため、

- 社会情勢等の変化も見据え、より適切な指標となるよう求める。また、市民にもわかりやすい資料となるよう整理を求める。
- 予算編成時における必要額の正確な算定に努めるとともに、事業の進捗管理を徹底し、可能な限り不用額が発生しないよう、計画的な予算執行に努めていただきたい。

●引き続き、準用河川の維持を!

それぞれの総合支所において、準用河川の維持に地域住民の声がよく吸い上げられており、きめ細かい対応がされていることを確認しました。

👉 指摘・要望

地域住民の安全のための重要な事業であり、今後も格段の努力をしていただきたい。

●新型コロナウイルスの影響を分析して、正しく評価すること!

成果指標として報告があった年間の数値ではなく、感染が拡大する以前(12月まで)の実績値を確認することで、新型コロナウイルス感染症の拡大という特殊な要因がなかったとしても、成果が伸び悩んでいた事業があることがわかりました。

👉 指摘・要望

新しい生活様式への対応等、事業そのものの見直し求められるなか、これまでの指標は継続しつつ、特殊な要因を考慮しながら当該年度の事業評価を正しく判断できる新たな評価基準の設定等が必要である。

●健全な財政運営を!

経常収支比率や将来負担比率など、財政指標が悪化していることについては、合併後における山口市の未来を創造するための投資として、社会基盤整備を進められていることが要因であることは理解するところです。当初予算との比較では、地方債残高の減少や、基金の取り崩しが抑えられていることは評価しますが、将来世代への過度な負担を残さないよう健全な財政運営が求められます。

👉 指摘・要望

現在の財政状況について、市民理解が得られるように、広くわかりやすく広報していただきたい。

●産科医の確保の取組は、長期的な視点で!

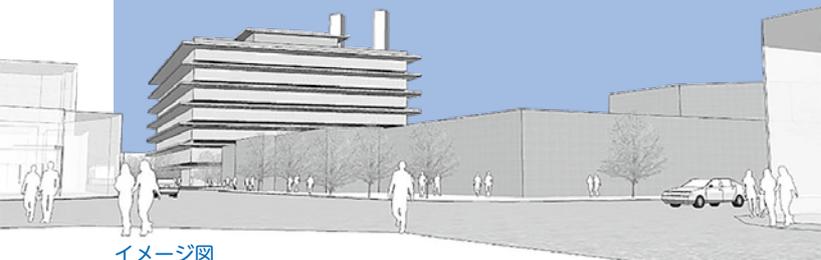
産科医確保の取組について、身近な地域で安心して出産・育児ができる環境の充実が図れるように議論しました。全国的に産科医が不足していますが、今後も引き続き安心した産科医療体制を維持するため、事業内容の検討や長期的な視点での取組が求められます。



新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会 ～第5回中間報告(要旨)～

8月28日開催の第12回調査特別委員会において、配置方針のほか、配置計画、平面計画が示され、安全で快適な歩行者動線を形づくるとともに、周辺エリアとのつながりを生み、山口都市核全体の連続性、回遊性を図るとの説明を受けました。委員会では、全体配置計画をはじめ新立体駐車場の規模やコスト、周辺道路の渋滞への対応、利用者動線、イベント広場の活用など、多岐にわたるテーマで議論を行いました。

また、市議会フロアの平面計画の提案があったことから、これまで本委員会として協議を重ねまとめた共通認識と照らしあわせ、委員会としての意見の集約を図っていくこととしています。



イメージ図

意見書を採択し 国に提出

次の2件の意見書が議員及び委員会から提案され、全会一致で可決しました。

意見書の全文は市議会ウエブサイトに掲載しています。

防災・減災、国土強靭化に資する河川改修及び河川管理施設の老朽化対策に係る予算等の拡充を求める意見書

(議員提出)

河川改修や河川管理施設の老朽化対策として予算や制度のさらなる拡充と継続を図り、地方自治体との連携を強化し、防災・減災、国土強靭化対策の推進に努めるよう求めるもの。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

(委員会提出)

令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向けた取組を実現するよう求めるもの。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第8号）
2ページに関連記事
- 令和2年度山口市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市地域下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市国民宿舎特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市特別林野特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

条 例

- 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市地域交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 宇部・阿知須公共下水道組合の解散に関する協議について
- 宇部・阿知須公共下水道組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- 宇部市と山口市との間の汚水処理事務の委託に関する協議について
- 住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について
- 山口市デジタル防災行政無線等整備事業第3次整備工事の請負契約の締結について
- 阿知須総合支所・地域交流センター等新築工事の請負契約の締結について
- 阿知須総合支所・地域交流センター等新築電気設備工事の請負契約の締結について
- やまぐちサッカー交流広場人工芝生化改設工事の請負契約の締結について
- 鑄銭司第二団地整備工事の請負契約の締結について
- 徳地地域複合型拠点施設整備徳地文化ホール改修工事の請負契約の締結について
- 徳地地域複合型拠点施設整備徳地文化ホール改修電気設備工事の請負契約の締結について
- 山口市産業交流拠点施設フルコンサートグランドピアノの取得について
- 山口市産業交流拠点施設会議用机・椅子の取得について
- 山口市産業交流拠点施設スタッキングチェアの取得について
- 山口市産業交流拠点施設舞台照明備品の取得について
- 山口市産業交流拠点施設舞台大道具備品の取得について
- 山口市立小中学校教育用コンピュータの取得について
- 損害賠償の額を定めることについて
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第7号）に関する専決処分について

決 算 認 定

- 令和元年度山口市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和元年度山口市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和元年度山口市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和元年度山口市漁業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 令和元年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 令和元年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について
- 3・4ページに関連記事

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について
原田茂樹氏（再任）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
和西孝恵氏（再任）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
上野千恵氏（再任）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
松長直道氏（再任）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
三戸純氏（新任）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
松田弘子氏（新任）

慎重な
審議の結果、
今定例会では
48議案を
可決しました。



スタッキングチェア



フルコンサート
グランドピアノ

議 員 提 出

- 防災・減災、国土強靱化に資する河川改修及び河川管理施設の老朽化対策に係る予算等の拡充を求める意見書の提出について

委 員 会 提 出

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について



地域おこし協力隊の現状と課題

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「経済建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



生活環境委員会

これまで30人の隊員を採用している。現在8名が活動中で、退任した22名のうち14名が退任後も本市に定住されており、飲食店の起業、徳地和紙の振興、徳佐りんこのシードルの開発など、現在もいろいろな形で山口で活躍されている。

課題としては、任期が終われば収入がなくなるため、今後の生活設計をたてる生業づくりが苦勞している方がおられる。地域との人間関係、つくりや生業づくりについての悩み相談など、引き続き、任期満了後の定任につながるよう支援をしていきたい。

(担当部局：地域生活部)



委員の意見

地域の人とともに生活をしながら、地域おこしに関わる活動をしてもらうのが一番いいと思うので、隊員の募集に当たっては、地域が要望し地域が求める人材を募集していくことを重点的に進めてもらいたい。



新規配備の消防活動用重機の活動評価は

令和2年7月豪雨に伴い、本市からは、緊急消防援助隊山口県大隊として12隊40名が出場し、熊本県八代市、球磨郡球磨村において行方不明者の捜索や救出活動を実施した。

本年6月から運用を開始した消防活動用重機と重機オペレーターの資格を有する隊員を災害現場に初めて投入し、土砂などが堆積した災害現場において行方不明者の捜索活動等を行った。重機の活用により、災害現場での作業効率が飛躍的に向上した。

一方で、災害現場においては重機搬送車や重機がどこまで進入できるかなど不明な点も多く、情報収集面での課題があると改めて認識した。

今後は、災害現場全体を上空から俯瞰できる情報収集方法の強化や、定例的な訓練、自衛隊等との合同訓練などによる隊員の技量向上に引き続き取り組んでいく。

(担当部局：消防本部)



被災地で重機を使って活動する隊員



重機搬送車（総務省消防庁の無償使用制度）

総務委員会



トビイロウンカの被害を受けた農家への支援を

経済建設委員会



田全体の稲が倒れる光景が市内各地で見られた

なぜ、今年は被害が大きかった？

トビイロウンカは、梅雨時期に、中国大陸、東南アジアから気流に乗って成虫が飛来してきます。今年は、例年に比べ梅雨時期が長く飛来数が圧倒的に多かったことと、梅雨明け後の少雨高温の条件により、産卵→幼虫→成虫のサイクルを繰り返し、市内全域に被害が広がりました。



病害虫被害は自然災害と同じ扱いとなるため、収入の減少に対しては農業共済や収入保険等での対応となることから農業共済組合等と連携して農家への説明を行う。また、被害農家に対する今後の支援策について、山口県農業協同組合（JA）とも協議していくこととしている。また、来年以降も同様の被害があることを想定し、個人では対応できないヘリコプターやドローンを使った適期の薬剤散布による防除等、県や関係機関と連携して対策を考えていきたい。

（担当部局：経済産業部）

委員の意見

新型コロナウイルスによる影響に加えて、過去に経験のない甚大な被害を受け、農家は本当に弱っている。共済や保険の制度による救済のみではなく、市としての独自の支援策を切に求める。



コロナ禍における学校行事は

教育民生委員会

新型コロナウイルスの影響により、学校行事等の中止や規模の縮小等が余儀なくされる中、子供たちの学びや思い出づくりのため、学校現場においては様々な工夫をこらしている。コロナを意識し、形を変えた授業活動を展開している学校が増えている。

（担当部局：教育委員会）



授業風景（阿知須小学校）



コロナ禍で解雇等された従業員と農業等への就業マッチング支援は

経済建設委員会

農林水産業雇用促進助成事業の9月下旬時点の実績は、4件（5万円×4人）であり、申請の見込みのあるものを10件程度と把握している。引き続き、農協や農業生産法人等へ説明に回り、受け皿の状況を確認する。

対象となる事業者に一律5万円を助成する本市の制度は、申請が容易になるよう設計したものである。

今後も農家等への周知を行い、当初の目標（200件）が達成できるように3月末に向けて取り組んでいく。

（担当部局：経済産業部）

委員の意見

- ・現状をみて予算が完全に執行される見込みは乏しい。事業の見直しや、新たな支援策の検討が必要である。
- ・農林水産業の担い手不足の解消策としては、県と県JAが運営するバイト検索サイト（アグポン）との連携や、社会福祉法人との連携（農福連携）についても検討されたい。



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか、読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて60分です。
★質問と答弁の映像は、各議員の二次元バーコードからも見られます。
※必要な場合には、バーコードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。



行政 新型コロナウイルス感染症経済対策



活気が戻りつつある中心商店街

問 感染拡大の防止に向けた取組、新しい生活様式を社会全体に定着させる取組、市内経済の活性化に向けた市内消費喚起の取組を進めるための事業を実施していく。実施にあたり、市民にしっかりと情報発信を行い、制度を活用していただくことで3つの取組の効果を向上させたい。

答 本市は、国が地方財政へ支援をする前から、市独自の経済対策に取り組み、第1弾から第3弾までの緊急経済対策と、緊急事態宣言解除後の段階的再開期には第4弾と第5弾の経済対策を実施してきた。これまでの実績と効果を踏まえた第6弾の経済対策について伺う。



自由民主党山口
泉 裕樹



健康 “高齢者の健康づくり、地域コホート研究事業

問 山口市産業交流拠点施設の機能であるライフインベーシヨンプラボ事業と連携する地域コホート研究連携とは。株式会社島津製作所、花王株式会社、協同乳業株式会社、山口大学、山口県、山口市がそれぞれ

答 株式会社島津製作所、花王株式会社、協同乳業株式会社、山口大学、山口県、山口市がそれぞれれの長所を生かし、実証の場である阿知須地域の70・80歳代の100名を対象に運動・認知機能訓練や、ヨーグルトの摂取等を実施し、実施前後での血液中の成分や腸内細菌等の変化の比較を行う実証研究事業である。認知症の早期診断マーカーとなる血中アミロイドベータに関する物質の検出測定やAIを活用した分析等により、高齢者の介護予防、加齢に伴う認知機能、移動機能の低下を予防する生活習慣や腸内フローラの検証を行い、研究成果を活用したヘルスケア産業の先鋭的な取り組みを促進する。



県都創生山口
山本 貴広



施設 湯田温泉拠点施設の「浸水対策・道路整備」を!



拠点施設整備予定地の浸水危険箇所(水路の合流地点)

問 多世代交流・健康増進拠点施設整備に伴う雨水排水対策について、想定している内容やスケジュールを伺う。

答 現在の水路の改良や雨水貯留機能などの整備の必要性を認識しており、令和3年度に当該水路の改良設計に着手したいと考えている。

問 施設整備に伴う道路の整備にあたっては、歩道幅を確保して歩行者に優しい道にしたいのだが、市の考えを伺う。

答 地元との合意形成や関係機関との調整を図り、安全で快適な道路空間の整備について早急に検討したい。



公明党
其原 義信



行政 コロナ禍！第二次山口市総合計画の見直しは？

今後、総合計画の下で市政運営を進め、感染症による社会経済情勢の変化などにも柔軟に対応していくこととしており、総合計画の段階の見直しは行わず現在の計画をしつかりと進めていく。

※**骨太の方針2020(7月に閣議決定)**
経済財政運営と改革の基本方針2020。コロナ禍の経済活動と感染防止策を両立させた「新たな日常」が前面に示された。

問 未だ収束が見えないなか、今後も支援策の拡充など必要となるが、限りある予算の執行にあたっては、感染症拡大以前に計画された大規模事業を含めて優先順位をしっかりと精査し直すべき深刻な状況ではないか。総合計画の見直しを含め、先行きを見据えた市政運営方針を伺う。

答 国の骨太の方針2020において示された感染症拡大で顕在化した課題を克服したアフターコロナにおける新しい経済社会の姿の基本的な方向性と、総合計画の考え方は方向性を同じくしている。

問 財政収支改善のため既存の道路を積極的に市道認定することで、基準財政需要額に算定し地方交付税増を削つてはどうか。

答 開発道路や2項道路等を調査し、基準等満たすものについては市道認定や、道路台帳への記載をしていく。



ふるさと共創やまぐち
植野 伸一
うえの しんいち



財政 地域も元気、人も元気、市道の認定増加を！

問 健康やまぐち元いきいき大賞制度の復活を！

答 過年、90歳以上の元気な市民を表彰していたが、大きな励みとなるのでぜひ制度を復活していただきたい。

問 健康長寿部門を再開しコロナ禍における社会的閉塞感を取り除きたい。年齢要件の緩和も含めて見直す形で実施に向けて早急に検討する。

問 健康やまぐち元いきいき大賞制度の復活を！

答 過年、90歳以上の元気な市民を表彰していたが、大きな励みとなるのでぜひ制度を復活していただきたい。



同一規格でも市道認定されているか否かで扱いが異なる

問 令和3年度予算編成にあたっては、経済効率のみを最優先する政治から人間のケア、雇用、教育、食料、エネルギー、文化・芸術など必要不可欠なものを優先する政治に切り替え、大型開発などの不要不急の事業費は削る予算とするよう提案する。

答 国の基本方針2020(骨太の方針)の新たな日常の構築に向けた考え方は、本市の広域県央中核都市づくりと21地域づくりの8つの重点プロジェクトの取組と方向性は同じであり、提案された考え方も同じと考える。



高志会
氏永 東光
うじなが とうこう



行政 生きるために必要不可欠なものの優先の予算編成を

問 令和3年度予算編成にあたっては、経済効率のみを最優先する政治から人間のケア、雇用、教育、食料、エネルギー、文化・芸術など必要不可欠なものを優先する政治に切り替え、大型開発などの不要不急の事業費は削る予算とするよう提案する。

答 国の基本方針2020(骨太の方針)の新たな日常の構築に向けた考え方は、本市の広域県央中核都市づくりと21地域づくりの8つの重点プロジェクトの取組と方向性は同じであり、提案された考え方も同じと考える。

問 令和3年度予算編成にあたっては、経済効率のみを最優先する政治から人間のケア、雇用、教育、食料、エネルギー、文化・芸術など必要不可欠なものを優先する政治に切り替え、大型開発などの不要不急の事業費は削る予算とするよう提案する。

答 国の基本方針2020(骨太の方針)の新たな日常の構築に向けた考え方は、本市の広域県央中核都市づくりと21地域づくりの8つの重点プロジェクトの取組と方向性は同じであり、提案された考え方も同じと考える。

問 令和3年度予算編成にあたっては、経済効率のみを最優先する政治から人間のケア、雇用、教育、食料、エネルギー、文化・芸術など必要不可欠なものを優先する政治に切り替え、大型開発などの不要不急の事業費は削る予算とするよう提案する。

答 国の基本方針2020(骨太の方針)の新たな日常の構築に向けた考え方は、本市の広域県央中核都市づくりと21地域づくりの8つの重点プロジェクトの取組と方向性は同じであり、提案された考え方も同じと考える。




日本共産党
大田 たける
おおた たける



財政 新型コロナウイルスによる市財政へ影響

問 新型コロナウイルスによる市財政への影響と令和2年度予算執行への影響及び令和3年度予算編成への対応方針を伺う。

答 中長期的には厳しい状況だが、現時点で財政運営を変更しなければならぬほど大きな影響はないと考えている。令和2年度予算への大きな影響も現時点ではないが、さらなる対応が必要となった場合には、自主財源の活用や年度途中での予算の組み替えも検討する。令和3年度の予算編成については国の地方財政計画を注視し、限られた財源の中で効果的な事業の実施に取り組み、将来に向けたまちづくりと市民生活の安全安心を確保する取組を進めたい。

●**その他の質問**

- 保育士支援
- 会計年度任用職員制度

問 新型コロナウイルスによる市財政への影響と令和2年度予算執行への影響及び令和3年度予算編成への対応方針を伺う。

答 中長期的には厳しい状況だが、現時点で財政運営を変更しなければならぬほど大きな影響はないと考えている。令和2年度予算への大きな影響も現時点ではないが、さらなる対応が必要となった場合には、自主財源の活用や年度途中での予算の組み替えも検討する。令和3年度の予算編成については国の地方財政計画を注視し、限られた財源の中で効果的な事業の実施に取り組み、将来に向けたまちづくりと市民生活の安全安心を確保する取組を進めたい。




市民クラブ
山見 敏雄
やまみ としお



交通 運転免許返納者増加等を見据えた市民の足の確保

問 2年後から運転免許返納者の増加が予測される中で市は市民の移動の足の確保に、どう取り組んでいくのか。

答 鉄道や路線バス等の基幹構造の維持、コミュニティ交通の充実が必要であり、バスのルート・ダイヤの見直しについても、よりニーズに沿うよう、バス事業者や地域の皆様と、しっかりと協議をしていく。

問 コロナで大打撃を受けている湯田温泉。新山口駅に開館するホール等への来場者を誘客するため、市は新山口駅・湯田間の移動や利便性向上策をどう考えているのか。

答 県と連携し、新たなモビリティサービス調査・実証事業に取り組んでいる。シェアサイクルの取組に加え、新たな交通手段として、議員提案のマイクロバスや乗合タクシーの運行等についても検討していく。

※モビリティサービス調査・実証事業
山口市は県と連携して少人数での移動に活用できる小型モビリティの実証に取り組む。



自由民主党山口
湊 和久
あなと かずひさ


防災 降水量の増大を見据えた防災・減災対策を!

問 指定緊急避難場所における問題点と解決策、県有施設等活用への考えを伺う。

答 洪水時の避難場所としての適応が2階以上でエレベーター未設置の地域交流センターには、再整備の際に設置する。県有・民有施設は既に活用もしているが、今後は立地状況のバランスを考慮したい。自治会集会所の活用については、分散避難の観点から有効性を周知し、積極的に推進している。

問 県の管理する河川の水害対策について伺う。

答 市の担当課や地域交流センターで要望や意見等を伺い、速やかに河川管理者に届けている。市と県は毎年度、防災対策等に関する協議要望の場を設けており、河川についても連絡を密にして災害を未然に防ぎたい。




自由民主党山口
馬越 帝介
まこし たいてい


行政 愛される徳地地域複合型拠点施設を!

問 地域に愛され、親しまれるシンボリック的存在としての施設になると思っている。徳地のランドマークとなる徳地地域複合型拠点施設建設にどう取り組まれるか伺う。

答 市場には出回らない幻の銘木であり皇居新宮殿や錦帯橋にも使用されている滑松の力ウンターや、和紙の素朴な風合いを活かした徳地和紙ガラスを設置するなど、徳地を代表する特産品の特徴を取り入れる。また、地域の皆様が自由に活用できる地域交流スペースを設け、地域に一番身近な施設として多くの方に末永く愛される施設となるよう整備を進めていく。



徳地地域複合型拠点施設 (パース図)



自由民主党山口
田中 勇
たなか いさむ


医療 リスクある医療・介護・教育従事者の定期検査を

問 経済を取り戻し地域コミュニティの交流再開のためにも防疫目的でのPCR検査体制が必要だ。感染リスクのある職種の従事者を優先し定期的検査の実施を求める。

答 医療・介護従事者への積極的な検査実施について、8月の山口県市長会で県への要望事項としてまとめられた。国や県の動向を注視する。

問 児童館を各地域へ整備し子どもの居場所にする。

答 児童文化センターはただ廃止するのではなく、児童館として湯田地域に必要な子どもの居場所づくりは街の魅力となる。各地域で整備を。各地区設置までの必要性は低いと考えており、既存の児童館機能の充実や在り方は研究したい。他施設においても子どもの遊び場や居場所機能の付加に取り組みたい。




日本共産党
尾上 頼子
おのうえ よりこ


就労 働き方改革とともに消費者改革を!!

問 消費者による悪質クレーム、いわゆるカスハラが本年6月に施行されたパワハラ防止法においても言及されているが、事業者における体制整備だけでは限界がある。サービスを提供する側と受ける側が同じ一人の人間として尊重される社会の実現を目指すためにも、消費者側の意識改革のための啓発が必要と考えるが市の所見を伺う。

答 これまでも職場におけるハラスメントに関する研修を開催し、働く人の問題についての啓発に努めてきた。今後は新しい法律の周知を行うとともに、関係機関とも連携し、どのような啓発が市民の意識改革につながるのか実効性のある具体的な施策について検討・実施することで働く人の人権が守られる社会となるよう取り組む。

消費者による悪質クレーム、いわゆるカスハラが本年6月に施行されたパワハラ防止法においても言及されているが、事業者における体制整備だけでは限界がある。サービスを提供する側と受ける側が同じ一人の人間として尊重される社会の実現を目指すためにも、消費者側の意識改革のための啓発が必要と考えるが市の所見を伺う。




市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



ごみ 極小サイズの指定ごみ袋を導入しよう!!

問 近年、高齢化・単身世帯化の進展が顕著となり、今後一層進んでいくと予想されている中で、高齢者等においては、現状の山口市指定のごみ袋の小サイズでも大きすぎるため、極小ごみ袋の導入が必要である。製造原価との整合を図りつつ検討された市の認識を伺う。

答 極小サイズの指定ごみ袋については、これまでも市民の皆様から要望が寄せられており、廃棄物の排出抑制や住民サービスの観点からも導入についての検討が必要との認識をしている。今後、意向等の調査を実施し、導入に向けた具体的な検討を行っていく。また、極小サイズの指定ごみ袋の導入に向けた検討と併せ、ごみ袋への広告掲載、民間事業者の活用についても研究していく。

近年、高齢化・単身世帯化の進展が顕著となり、今後一層進んでいくと予想されている中で、高齢者等においては、現状の山口市指定のごみ袋の小サイズでも大きすぎるため、極小ごみ袋の導入が必要である。製造原価との整合を図りつつ検討された市の認識を伺う。




公明党
村上 満典

むらかみ みつのり



子育て 南部地域への母子健康サポートセンターの設置

問 やまぐち母子健康サポートセンターの小部分室を設置されてはいかがか伺う。

答 サポートセンターでは、保健師、助産師の専門職が関係機関と連携をとりながら妊娠出産期から子育て期までを包括的・継続的に支援すること、安心して出産・育児ができる環境づくりに努めている。分室については、第二期山口市子ども・子育て支援事業計画において、令和4年に南部地域における母子保健の支援拠点としての新設を掲げている。保健師、助産師の人員配置や諸課題を整理し、利用者にとって利便性の高いセンターにしていきたい。妊娠・出産・子育ての期間は心身の不調や育児不安など悩みが多い。特に困難事例の相談業務の部分は、計画より先行できるように考えている。

やまぐち母子健康サポートセンターの小部分室を設置されてはいかがか伺う。




高志会
伊藤 育

いとう ひとし



子育て 親の離婚後、子どもが養育費を受けられる社会を



子どもと親が笑顔で暮らせる社会を

問 ひとり親家庭の相対的貧困率は約50%であり、養育費を受けている割合は、父親からは24・3%、母親からは3・2%という現実がある。他市では、市が養育費の立替えと徴収業務等を行う養育費確保の支援事業もある。離婚後も両方の親が子育てに責任を持ち、子どもたちが離婚により不利益を受けない社会をつくるための施策を伺う。

答 先進的な他市の取組は承知しているが、それぞれ地域の事情も違い、事業化に至った背景などがあると考えられることから、本市としての具体的な事業については、今後他市の例を参考にしながら研究していきたい。

ひとり親家庭の相対的貧困率は約50%であり、養育費を受けている割合は、父親からは24・3%、母親からは3・2%という現実がある。他市では、市が養育費の立替えと徴収業務等を行う養育費確保の支援事業もある。離婚後も両方の親が子育てに責任を持ち、子どもたちが離婚により不利益を受けない社会をつくるための施策を伺う。



市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



医療

新型コロナウイルス感染症 検査体制の強化は



山口市休日・夜間急病診療所敷地内に完成した検査センター（右）

問 新型コロナウイルス感染症経済対策第6弾の地域外来・検査センター設置による検査体制の強化は。

答 9月29日からセンターの運営を開始し、祝日を除く毎週火・木曜日の午後1時から30分午後3時まで開設する。かかりつけ医で検査が必要と判断された方に対し、医師からの予約によりドライブスルー方式で検体採取が行われる。当面は、1日10件程度の検体採取し、検査結果については、4件は検査当日の夕方に、その他は検査翌日の正午までに判明する。検査結果が陽性の場合、保健所の指示により感染症指定医療機関等への入院等の対応が行われる。



高志会
伊藤 青波



福祉

おでかけサポートタクシー券の再発行

問 タクシー券を利用されている介護認定者等の方々からは、おでかけに大変助かるとの声を聞いている。しかし、紛失された場合は、再発行はできないとされており、その年度は利用できない。市は個人の使用枚数を把握しているのに、なぜ再発行ができないのか。再発行すべきと考える。

答 通院、買い物などの外出を目的に乗車料金の割引券を交付しているが、金券同様のため再発行はしていない。しかし、最近は再発行の問い合わせが増えており、本事業の対象者は高齢者が大半で紛失も懸念されることから再発行の必要性を再検討した。今後は利用者の利便性や市民サービス向上のため未利用分の再発行に向けた準備を進める。



日本共産党
西村 芳和



定住

第一次産業への支援強化を!



問 近年、都市部から地方の第一次産業への就業を希望する若者が多いが、住居確保等含めた支援体制の整備を図ることで定住につながるかと考えるがいかがか。

答 東京での就業相談会への参加等により県外の人材を確保し、市独自の家賃助成、空き家バンク制度とも連携して住居の確保を支援する。

問 水産物の販路拡大のためにも直売所など販売箇所の確保、市内消費者や観光客へ波及効果のある山口・小郡都市核や湯田温泉との連携が必要と考えるがいかがか。

答 県漁協大海支店では市の必要とされる旬の時期に出荷できる魚種の価格等の発信、漁業者と事業者の情報交換ができるホームページを開設する予定で、市も支援している。



ふるさと共創やまぐち
宮川 英之



防災

市道仁保津4号線・八方原中線の冠水対策を!

問 平成二十一年七月中国・九州北部豪雨では、小郡地域でも多くの床上、床下の浸水被害が発生した。そこで、現在も大雨のたびに住民に不安を与えている市道仁保津4号線、八方原中線の冠水対策について伺う。

答 市道仁保津4号線については、梅雨及び台風時期に仮設のポンプを設置して強制排水を実施しているが、今年度、緊急自然災害防止対策事業債を活用して、市道のかさ上げ工事を行うこととしている。八方原中線については、200メートル区間を1メートル程度かさ上げすることも一つの対策と考えている。また、調整池の設置や水路へのゲート設置等も考えられることから、関係部署と調整して、経済的効果的な対策について検討していく。



公明党
桜森 順一



小学6年生の議場見学 子どもたちの声、将来の政治に期待!

8月25日に白石小学校6年生の議場見学を行いました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、議場内での議会体験のみ行いました。

質問をする議員役も、市長をはじめ答弁する側の児童も山口市の将来について真剣に考え、本物の議会さながらの緊張感あるやりとりがありました。

短い時間ではありましたが、この体験をしていただいた子どもたちから、本市のまちづくりに熱い志を持った将来の政治家が生まれることを期待します。



何の数字でしょう？
直近の山口市議選の投票率です。

43.41%しか投票していません。だからぼくが18歳になったら、政治に関心を持って生きていかなければなりません。

投票率が年々減っているのは知っていましたが、こんなに低いとは思いませんでした。私が18歳になれば選挙に参加できるので積極的に参加したいなと思いました。



市長から、山口市のまちづくりのアイデアを提案し審議を求めます。

あの議場の中で私たちの住んでいる山口市のことが話されていると思うと少しびっぴりしました。市長さんや副市長さん、議員さんとして活やくしてみたいと思いました。



議員からは、予算を使ってやるべき提案か、真剣に考え、市長らの考えをたずねていきます。

ぼくはしようらい、政治家になるのもいいかなあと考えていたけれど、今回の見学でここがこれを持っていたので考えてみようと思います。

一番驚いたのは女性の議員が二人しかいないことです。



かなり厳しい質問にも勇気を出して手をあげ、自分の言葉で考えを答えました。

やっぱりいざ話し合おうとなると少しきんちようしてしまい、頭がこんがらがって答へんことができませんでした。しかし今思うと、みなさんはこの状況で話し合いを行っているのと分かりますごく感じしました。



今度、市議会がある時は、見に行ってみたいです。

ぼくは、社会がすごくにがてだったけど、市議会見学をしたら社会をちよっぴり好きになりました。

※子どもたちの声は、クラスから届いたお礼状(感想文)からそのまま引用したものです。写真の児童とは連動していません。

議会からのお知らせ

市内で学ぶ 視察報告

くわしくは、ホームページに掲載しています。



7/29 教育民生委員会

学びの環境がよくなっています

二島小学校、阿知須小学校の電子黒板やタブレット端末を使った授業などを視察。

ICT機器の活用により、教員と子ども、子ども同士の考えていることがリアルタイムで共有でき、新しいかたちのコミュニケーションがとられていました。

オンライン授業への対応や、教員の授業の準備・資料共有といった負担軽減にもつながっており、積極的な活用事例を実際にみることで、導入効果の高さを確認することができました。

使用時の子どもの姿勢による体への影響や、身近になるネット社会との関わり方の教育などの課題に取組みます。



8/24 生活環境委員会

ごみの分別が活かされています

家庭や事業所からのごみについて、大規模な基幹設備の更新が完了した清掃工場(可燃ごみの焼却)、リサイクル行政を推進するリサイクルプラザ・中間処理センターを視察。

リサイクルプラザでは不用品の再生販売や、資源物の洗浄・圧縮等の再資源化に係る作業がされており、実際に目で見ることで、分別や環境問題に対する意識が変わるような感覚がありました。

市民意識の向上を目指してどのような啓発を行うか、各地域での展開やきっかけづくりに取り組んでいく必要があります。



市議会でのタブレット端末の本格運用スタート

議会活動の効率化と議員活動のさらなる充実、活性化を図るために、議員へのタブレット端末機器の貸与と、ペーパーレス会議システムを導入しました。本年6月定例会までの試行期間では紙媒体と併用していましたが、9月定例会から本格的な運用をスタート。

従来は定例会毎の議案資料や各議員への連絡・案内に配布される紙資料は膨大なものでしたが、タブレット端末の活用により、各種会議資料の削減に加え、写真や絵図のカラー印刷に係る経費が節約されています。また、端末の機能やビジネスチャット等を使い、事務連絡の徹底や会議日程などの周知・確認といった幅広い活用もできるようになりました。オンラインのビデオ通話等による議員間の協議や会議の効率化にも挑戦しています。

8/27 経済建設委員会

県漁協大海支店で漁業者の声をきく

県外からも、大海(秋穂地域)で漁業をするために若い人たちが集まってくるという将来にむけて希望のある話。

水揚げされた魚を市内外で流通させるシステムづくり、市内消費やブランド化の取組、移住者の住居不足の解消など、市として支援していく必要を肌で感じました。

朝から秋穂荘～大海漁港～飼料用トウモロコシ生産現場と丸一日かけて視察。

昼休憩は、午後からお世話になる漁師のみなさんの直売所で、とれたて新鮮な海鮮丼をいただきました。(もちろん自費です)



JF大海直売所
山口市秋穂 643-1
TEL: 083-984-2408
ぜひ、お試しください。

山口市議会の議会改革、あなたはどう思う？

これまで山口市議会が進めてきた議会改革の取組と、その中でも、議会の在り方や議員の役割を考える上で重要である議員定数等について研究、議論しています。

11月8日(日)に開催した議会改革フォーラムの様式をご覧ください。

市民の皆様のご意見をお寄せください。

くわしくは、市議会ホームページへ



議会改革フォーラム 「これからのまちづくりと山口市議会」 11/10～12/10 録画配信

- 講演/『まちづくりと議会の役割』
講師/江藤俊昭氏(山梨学院大学法学部教授)
- 山口市の議会改革の取組について
- 講師講評、参加者アンケートへのコメントなど



議会の主な動き



7月

- 14日 市議会だより等編集委員会
- 20日 第14回山口市議会議会改革検討協議会
- 21日 市議会だより等編集委員会
- 27日 会派代表者会議
- 29日 教育民生委員会管内視察
- 31日 広報広聴委員会

8月

- 11日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 19日 第15回山口市議会議会改革検討協議会
- 24日 議会運営委員会、生活環境委員会管内視察
- 25日 白石小学校議場見学、広報広聴委員会
- 27日 経済建設委員会管内視察
- 28日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 31日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会

9月

- 7日 第4回定例会初日(～10月16日最終日)
- 8日 議会運営委員会
- 14日 市議会だより等編集委員会
- 25日 第16回山口市議会議会改革検討協議会
- 29日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会

10月

- 1日 議会運営委員会、市議会だより等編集委員会
- 2日 令和2年度山口県市議会議長会臨時総会(美祢市)
- 5日 会派代表者会議、山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 14日 議会運営委員会、市議会だより等編集委員会
- 16日 議会運営委員会、市議会だより等編集委員会



名勝常徳寺庭園
開園式典(10月10日)

おいませ山口へ(行政視察の受け入れ)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、4月13日から当面の間、行政視察の受け入れをお断りしております。

【表紙写真】

山口市香山公園で開催された『山口ゆらめき回廊2020』最終日の写真です。ライトアップされた国宝・瑠璃光寺五重塔や1000本のキャンドルに照らされた散策路が、とても幻想的でした。

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4	5
	本会議 (初日) 10:00～					
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
13	14	15	16	17	18	19
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 経済建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
20	21	22	23	24	25	26
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

●山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>

●インターネット録画中継
<http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市龜山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

編集後記

今年は新型コロナ禍や農作物への被害など災害が多いと感じます。編集副委員長となり、みなさんの目に止まり、見やすい紙面を委員一丸となって作りたいと思います。(大田)

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・伊藤青波
野村雄太郎

次号は2月1日です